

社会科学習指導案

日 時 令和6年 1月19日(金) 第5校時		
授業者 安土 直子	場所 2年2組教室	対象 2年2組
単元(題材)名 九州地方 ー自然とともに生きる人々の暮らしー		

1 単元の目標

- ・九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、自然環境を生かした産業や防災の取組みについて理解する。
- ・よりよい社会の実現を視野に、九州地方の自然環境を生かした人々の生活や産業の課題について考察し、多面的な視点を養う。

2 単元のルーブリック

評価項目	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	○九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、自然環境を生かした産業や防災の取組みについて理解している ○読図、理解した内容を白地図に正確に作図し、整理している	○九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解し、自然環境を生かした産業について理解している ○読図、理解した内容を白地図に整理している	○九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色を理解している ○理解した内容を白地図に整理しようとしている
思考・判断 ・表現	○自然環境を生かした人々の生活や産業の課題について考察し、多面的な視点を養おうとしている	○自然環境を生かした人々の生活や産業の課題について考察し、多面的な視点を養おうとしている	○自然環境を生かした人々の生活や産業について考察している
主体的に 学習に 取り組む態度	○よりよい社会の実現を視野に、自然環境の保全についての話し合いで、自分の考えを調整しようとしている	○自然環境の保全についての話し合いで自分の考えを組み立てている	○自然環境の保全についての話し合いに参加しようとしている

単元の目標：「人々の生活や産業に恩恵や課題をもたらす自然環境の保全について多面的に考察する。」

単元の指導計画と評価計画（全5時間）

	ねらい	学習内容・学習活動	評価項目	評価方法等
第1時	九州地方の自然環境の特徴を理解する	地形や気候の読図・作図	技	ワークシート
第2時	九州地方の産業の特徴を理解する	自然環境を生かした産業のグラフの読取り・作図	技	ワークシート
第3時	自然環境がもたらす恩恵と課題の二面性に気付く	産業や公害、火山の影響など自然環境がもたらす恩恵と課題を分析する	思	ワークシート
第4時	自分の役割から自然環境の保全のためにできることに気付く	それぞれの役割に応じて自然環境の保全について考察する	思	ワークシート
第5時 (本時)	自然環境の保全について多面的な視点を養う	自然環境の保全についてそれぞれの役割が持つ視点から意見交換する	主	ワークシート

本時のルーブリック

評価項目	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
主体的に学習に取り組む態度	自然環境に関わる人々の役割を理解し、それぞれの立場からの考え方に気づき、結論にとらわれない思考力を育てている	自然環境に関わる人々の役割を理解し、それぞれの立場からの考え方に気付く	自然環境に関わる人々の役割を理解し、それぞれの立場から話し合いに参加している

3 本時の展開 (★印は本時の探究タイム)

本時の目標：「それぞれの役割から意見を交換し、自然環境の保全について多面的な視点を養う。」

	○学習活動 ・内容	・指導上の留意点 ◎評価規準【観点】(評価方法)
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換会についての流れと話し合う内容について確認する ・それぞれの役割から「自然環境の保全のために何ができるか」考える ○本時のルーブリックを示し、自分の目標を設定する(8分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にグループ分けを発表しておく
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換会に向けた直前準備(5分) ○自分の役割からの意見を確認する 	
	<ul style="list-style-type: none"> ★課題解決型の学習・協働的な探究活動(15分) ○4人班で意見交換会をおこなう ・「自然環境の保全のためにできること」 ○4人班での意見交換を経て、班で1つの結論を出す ○各班での結論を代表者が発表する(10分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・班員の役割や意見を、メモを取りながら聞くよう指示する ◎発表を聞きながらメモを取り、ワークシートを完成させようとしていたらB 【主】(ワークシート)
	<ul style="list-style-type: none"> ○意見交換会と各班の結論の発表を経て、自然環境の保全について自分の考えを書く(7分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・違う役割からの意見や結論を聞いて自分自身に生じた考えの変化を書くように指示する ◎自分と異なる役割の意見を聞いて考え方の違いに気付いたらB【主】(ワークシート)
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のルーブリックを示し、自分の取組みを振り返る ○自分が設定した目標への到達度を記入する(5分) 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自分の目標に対する振り返りと到達度が書けていればB【主】(ワークシート)

「自然環境の保全」のために、何ができるだろうか？ 意見交換会

2年 組 番

自分の意見準備メモ

立場【 】

話し合いメモ	それぞれの役割から、自然環境の保全のためにできること
班員（ ） 役割【 】	

【班の結論】 複数の立場の意見を踏まえて、自然環境の保全についてできること

--

【自分の考え】 各班の結論や複数の立場の意見を踏まえて、自然環境の保全について考えたこと。

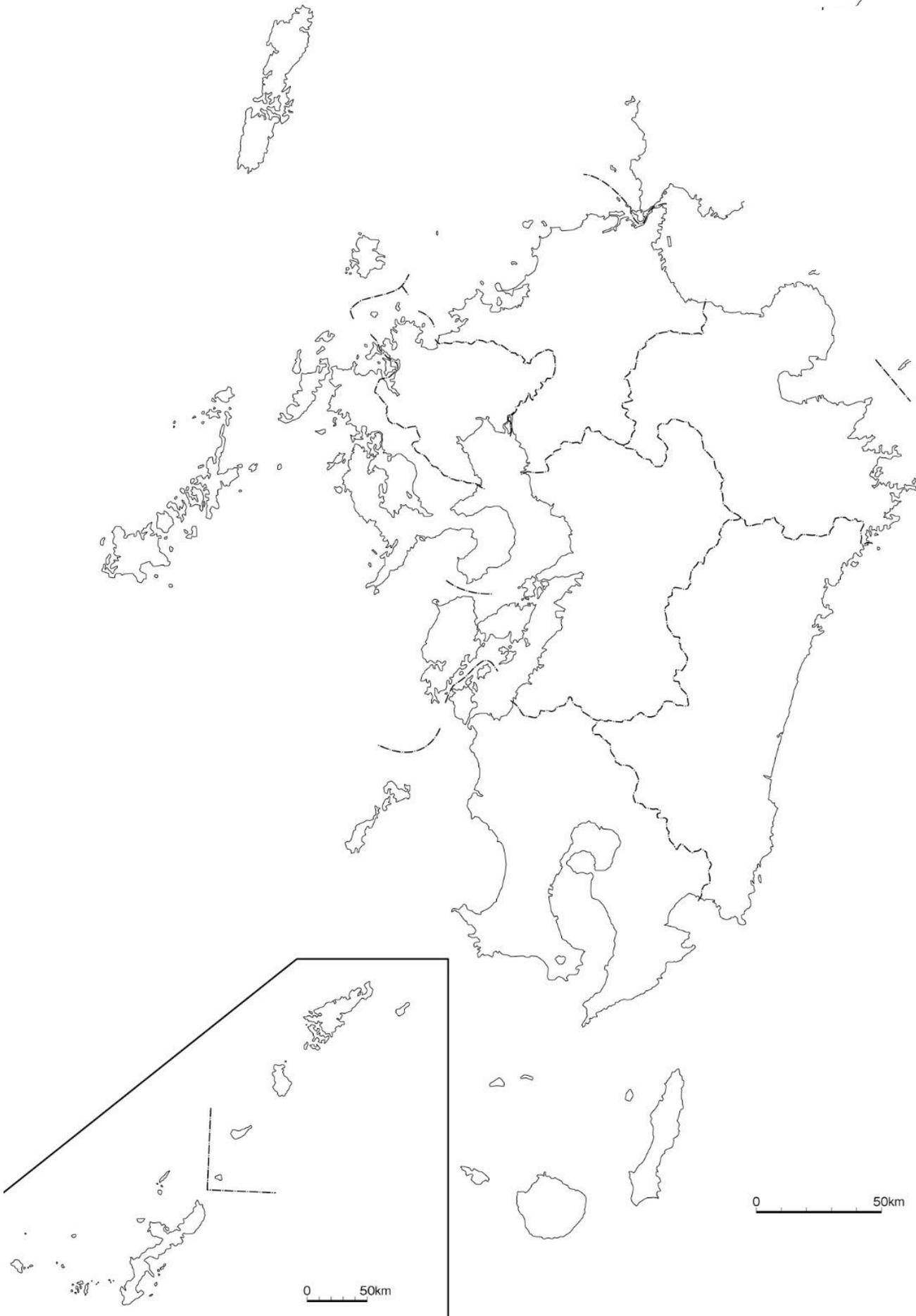
--

本時のルーブリックに基づく自分の目標と到達度

A 期待以上である	B 十分満足できる	C 努力を要する	
自然環境に関わる人々の役割を理解し、それぞれの立場からの考え方に気づき、結論にとらわれない思考力を育てている	自然環境に関わる人々の役割を理解し、それぞれの立場からの考え方に気づく	自然環境に関わる人々の役割を理解し、それぞれの立場から話し合いに参加している	
目標			目標到達度
振り返り			A・B・C

単元の課題

人々の生活や産業に恩恵や課題をもたらす「自然環境の保全」について多面的に考察する



理科学習指導案

日 時 令和6年 1月 19日 (金) 第 5 校時		
授業者 奥田 裕介	場所 理科室	対象 第1学年
単元 (題材) 名 地学分野 大地の変化 ～火成岩の分類～		

1 本時の目標

- ・火成岩である火山岩と深成岩の区別、有色鉱物の量による玄武岩・安山岩・流紋岩(火山岩)、斑れい岩・閃緑岩・花崗岩(深成岩)について理解する。
- ・実物の岩石を使用し、既習事項を踏まえて岩石を特定し、根拠をもって説明することができる。

2 本時の評価用ルーブリック

評価項目	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C やや努力を要する	D 努力を要する
(知識・技能)				
岩石の分類についてこれまでの学習を振り返り、構成している成分を考えながらまとめ、表現している。 (思考・判断・表現)	B 基準+仮説まで高めた予想を記述としている。 予想と結果の対比だけでなく、課題や目的に対する答えや結論、疑問などを記述している。	C 基準+自分の経験や既に学習したことを基に理由を明確にして予想を記述している。 予想と結果の関連について記述している。	自分で考えて予想はできているが、理由(根拠)が不明確である。 結果を比較・分類・関連付けして考察している。	C 基準を満たしていない。
岩石の判別を、科学的に探求しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)	B 基準+自分の考えが他者に伝わるように説明している。(粘) B 基準+学習したことを身のまわりの現象や生活経験と結びつけようとしている。(調)	C 基準+課題や疑問を意識しながら取り組んでいる。(粘) C 基準+学習を通してどのような力が身に付いたのかを振り返っている。(調)	難しいと感じることがあっても投げ出さず、課題と向き合っている。(粘) 学習前後で自分の考えがどのように変わったかを考えるようにしている。(調)	C 基準を満たしていない。

3 指導計画

	ねらい	学習内容・学習活動	評価項目	評価方法等
第1時	噴火によって出てくるものを理解する	噴火映像から火山噴出物について学習する		

第2時	火山の形とマグマの関係を理解する。	火山の画像を比較し、火山の形とマグマの粘り気について学習する		
第3時	火山灰の色と火山の形や噴火のようすの関係を理解する	火山灰の観察を行い、鉱物の種類や量から火山の形や噴火のようすを考察する	技・思	ワークシート
第4時	火成岩とマグマの冷え方の関係を理解する	岩石の観察を行い、火山岩か深成岩かを見分ける	技・思	ワークシート
第5時	岩石の判別を行い、岩石をつくったマグマの特徴を見つける	岩石を観察し、玄武岩・安山岩・流紋岩・斑れい岩・閃緑岩・花崗岩を見分ける	主・思	ワークシート

4 本時の展開 (★印は本時の探究タイム)

	○学習活動・内容	・指導上の留意点◎評価規準【観点】(評価方法)
導入	○前時の内容を確認する。 ・火山岩と深成岩について ○本時のめあて 「岩石の判別をし、岩石をつくったマグマの特徴を見つける」	・火山岩と深成岩の組織の違いとマグマの冷え方が関係する。 ・火成岩の色は、マグマの粘り気によって決まる。
展開	○マグマの粘り気は何によって決まるか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> カンラン石、輝石、角閃石 黒雲母、長石、石英 </div> ★ 探究タイム	◎火成岩に含まれる鉱物について紹介し、 鉱物の色から各岩石にどの鉱物が多く含まれているかを考える。
	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> ・班で岩石判別を行う。 6種類の岩石(玄武岩・安山岩・流紋岩・斑れい岩・閃緑岩・花崗岩)を、判別シートを用いて正しく分類する。(自力解決) 自分の判定をもとに班で話し合い学習を行う。(判別学習) </div>	【観点②】 既習事項をもとに、岩石の特定をしている。(ワークシート) 【観点②】 班活動を行う際、自分の意見を、根拠をもって伝えている。(机間指導) ◎分類結果を答えと比較し、間違い箇所はなぜ違うのかを班で考える。
まとめ	○本時のまとめを行う。 ・マグマの粘り気は、マグマに含まれる鉱物の量で決まる。 ・岩石の特徴から、岩石の特定ができることを確認する。	

班で使用する資料

判別シート

火山岩 かざんがん	げんぶがん 玄武岩	あんざんがん 安山岩	りゅうもんがん 流紋岩
	黒っぽい ← 色 → 白っぽい		
深成岩 しんせいがん	はんれいがん 斑糲岩	せんりよくがん 閃緑岩	かこうがん 花崗岩

答え



英語科学習指導案

日 時 令和6年1月19日(金) 第 5校時		
授業者 辻合・大槻・富岡	場所 2-4 教室 (標準)・2-5 教室 (標準)・英語少人数教室 (発展)	対象 2-4/2-5 組 習熟度別少人数クラス
単元(題材)名 Unit6 Goal 職場体験について報告しよう		

1 単元の目標

職場体験のレポートを書き、効果的に内容を伝え合う方法(スピーチ)を考える。

2 単元のルーブリック

評価項目	A 十分満足できる	B おおむね満足 できる	C やや努力を要する	D 努力を要する
知識・技能	職場体験の様子を伝えるために、自分が体験したことや感想を、まとまりのある独創的な文章でレポートに書いている。	職場体験の様子を伝えるために、自分が体験したことや感想を、まとまりのある文章でレポートに書いている。	職場体験の様子を伝えるために、自分が体験したことや感想を、レポートに書いている。	Cに満たない。
思考・判断・表現	友達の意見を取り入れて、自分の伝えたいことをより効果的に表現できている。	自分の伝えたいことを表現できている。	自分の伝えたいことを表現しようとしている。	Cに満たない。
主体的に学習に取り組む態度	友達の意見を取り入れ、自分のやり方を振り返り、より説得力のある、聞き手の心を動かすようなスピーチをしようとしている。	友達の意見を取り入れ、伝えたい内容が聞き手に伝わるスピーチをしようとしている。	友達と意見交換はしている。Bには満たないが、スピーチを最後までやりきるような準備をしている。	Cに満たない。

3 本時の展開 (★印は本時の探究タイム)

本時の目標： スピーチテストに向けて、より良いスピーチができるように考える。

	学習活動・内容	・指導上の留意点 ◎評価規準【観点】(評価方法)
導入 10分	<p>Greetings</p> <p>①Pair Talk (2min.)</p> <p>"How can you make a good speech?"</p> <p>隣同士で意見を交換させる。</p> <p>全体で、出た意見を黒板に書いていく。</p> <p>Loud voice, memorization, smile, eagerness 等 (大きな声で、暗唱、笑顔、熱意など)</p> <p>②ループリック+スピーチの評価シートを配布、説明する。各自の目標を定めさせる。</p>	<p>(ここまでは、職場体験のレポートの下書き・教員のチェック・清書が完成している。冬休みの宿題として、暗唱してくるように伝えている。)</p> <p>・本時の目標は、スピーチテストに向けて、より良いスピーチができるよう考えることが目標であると伝える。</p>
展開 38分	<p>③まずは、ペアで練習させる。(5 min.)</p> <p>ループリックを基に、お互いに前向きなアドバイスをし合う。</p> <p>★課題解決型の学習・協働的な探究活動</p> <p>④グループ発表 (3～4人のグループワーク)</p> <p>1人ずつ、発表→グループの人たちからアドバイスをもらう</p> <p>というのを繰り返す。(5 min.)</p> <p>一度全体を止めて、良くできた点などのアドバイスを全体に伝える。その上で、アドバイスを取り入れ、より良いスピーチができるよう、改善したスピーチを各自で考えさせる。</p> <p>⑤グループで2周目に発表する。(5 min.)</p> <p>⑥全体で発表させる (20 min)</p> <p>全体でアドバイスをもらう、良いスピーチは見習わせる。</p> <p>⑦プリントにループリックを基に自己評価を記入させる。(3 min.) 配布プリントを集める。</p>	<p>・もらったアドバイスをメモさせる。</p> <p>・改善点が活かされているか、自己評価させる。</p> <p>【観点】 思考・判断・表現</p> <p>【評価方法】 自己評価シートの記入と机間巡視により評価する。</p>
まとめ 2分	<p>⑧全体でスピーチでのポイントを確認する、良かったところ、がんばった生徒を伝える。</p>	<p>・次回の授業の連絡をする</p>

自己評価してみよう！	思考・判断・表現（20点満点）	主体的な態度（10点満点）
スピーチ1回目（グループ）		
スピーチ2回目（グループ）		
スピーチ3回目（クラス）		

1. Speech Test 用 評価表

思考・判断・表現				主体的な態度		減点
Accuracy (正確さ)	Pronunciation (発音)	Express feelings/Intonation (感情を表現)	Length/How well they can express (十分な長さと多彩な表現力)	Loud enough / Can hear clearly (声量・明瞭さ)	Eye contact (アイコンタクト)	*1) *2)
1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	1・2・3・4・5	
/20				/10		

*1) Looked at the paper 3 times or more. -3

*2) Rude attitude and words towards your friends and teachers. -30

2. 評価表の説明

Accuracy	暗唱した文の文法を正確に伝えることができる。
Pronunciation	正確な発音で、伝えることができる。
Express feelings / Intonation	イントネーションや表情で、伝えたいことを表現できている。
Length/How well they can express	文章そのものの長さが十分であり、伝えたいことを的確に表現できている。
Loud enough / Can hear clearly	聞き手に伝えるために十分な声量と明瞭さを出そうとしている。
Eye contact	聞き手に伝えるために聞き手全員と目を合わせようとしている。
評価	5 とても良い 4 良い 3 普通 2 努力を要する

